

管楽器リペア 研究科って？

もっと上を目指したいあなたへ！ 管楽器リペア研究科の魅力とは？

本校の「管楽器リペア研究科」は、管楽器リペア科を卒業したあとに、さらに高い技術を身につけるための進路です。近年、楽器業界では、オーボエやファゴットなど、ダブルリード楽器の修理に対応できるリペア技術を持つ人が求められるようになってきました。研究科では、そうしたニーズに応えるために、より専門的で実践的な授業を行っています。

授業では、実際の修理工房をイメージした環境で、現場に近い形での実習を中心に行います。さらに、企業の第一線で活躍されているプロの講師の方々から、最新の業界情報や、リアルな体験談なども直接聞くことができます。「もっと上手になりたい」「プロとして自信を持って働きたい」そんな気持ちに応えられる環境が、ここにはあります。

リペアの世界で、さらに一步踏み出したい方にぴったりの学びが待っています！



みんな知りたい！ 研究科への進学理由と学びで得たこと

いつか地元で独立して、自分の工房を開きたい」という夢があります。そのためには、メーカーによって異なる修理方法や特徴をしっかりと学んでおくことが大切だと思い、研究科への進学を決めました。また、ただ“音が出るようにする”だけではなく、「どこを、どう直すと、音がどう変わるのか」といった“音への影響”について深く研究したいと思ったことも、進学を決めた理由のひとつです。



研究科で学ぶ中で、楽器との向き合い方が大きく変わりました。たとえ実習用の楽器であっても、「どれだけ愛情をもって丁寧に向き合えるか」を意識するようになりました。今では、ただ「音が出るように直す」だけでなく、「どんな音を出せる楽器に仕上げたいか」といった目標を、もっと具体的に考えるようになりました。楽器を“直す”だけでなく、“育てる”ような気持ちで向き合うことが、自分の中で大切になっています。

